



「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」

-大学等教員の研究時間割合について-

2019.8.8

文部科学省 科学技術・学術政策局 企画評価課

大学等におけるフルタイム換算データに関する調査（FTE調査）とは

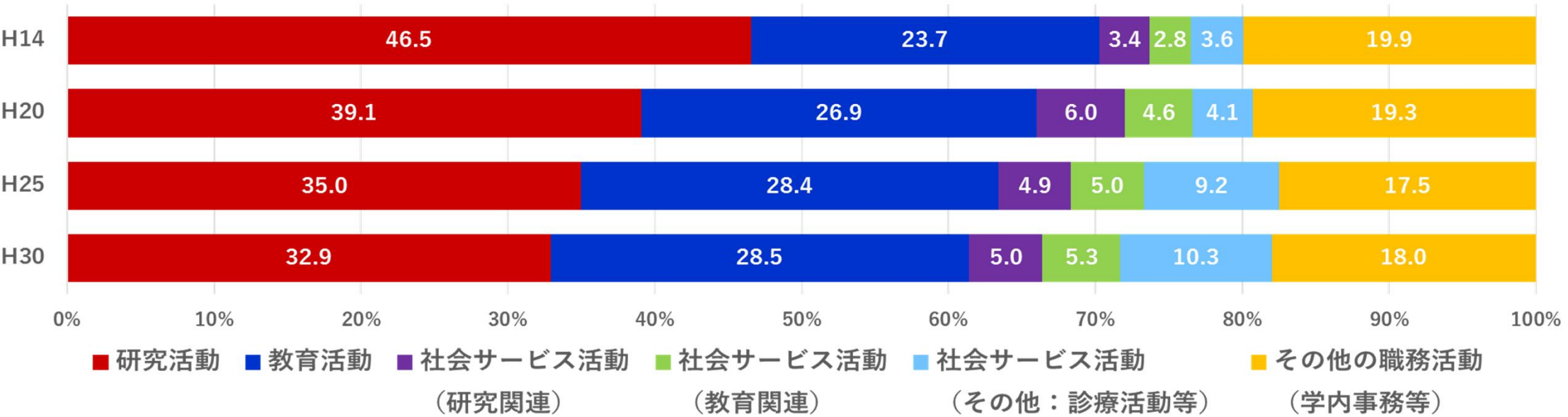
- 統計法に基づく一般統計（周期 5 年） H14、H20、H25、H30の4回実施
- 大学等における研究者数を国際比較可能なフルタイム換算値に補正するための係数（フルタイム（F T E）換算係数※）を得る
調査結果はOECDに報告するほか、科学技術関係予算の計算にも活用

※フルタイム換算

例えば1日当たり8時間勤務している教員の研究活動に従事する時間が4時間であった場合、フルタイムの研究者としては0.5（4時間/8時間）人としてカウントする

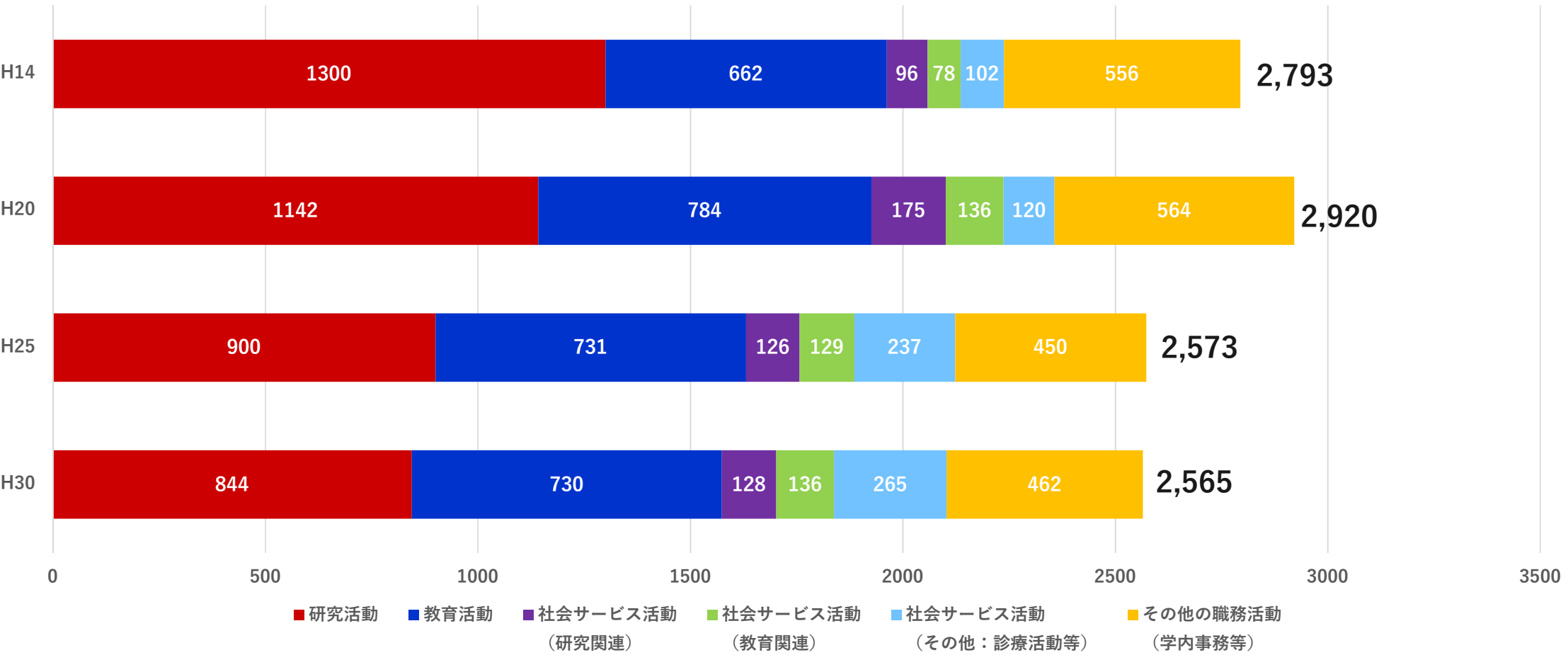
大学等教員の職務活動時間割合の推移

- 教員の研究活動時間割合は減少傾向が続き、平成30年度は32.9%
- 教育活動、社会サービス活動（研究関連、教育関連）時間割合がそれぞれ微増しており、前回特に増加傾向の強かった社会サービス活動（その他:診療活動等）も1.1ポイント微増して10.3%
- その他の職務活動（学内事務等）時間割合はこれまで減少傾向にあったが、今回は0.5ポイント微増して18%



○平成30年度の教員数のヘッドカウント値は192,334、FTE係数0.329をかけたフルタイム換算値は63,286₃

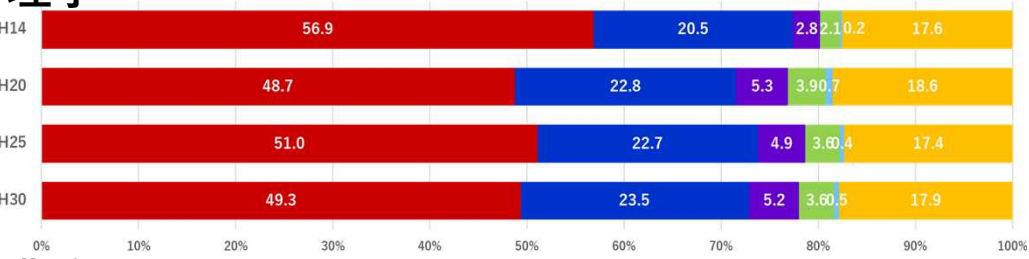
参考：大学等教員の年間総職務時間の推移



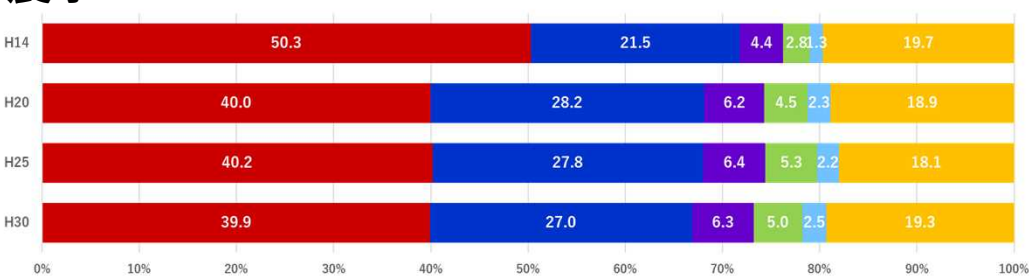
大学等教員の職務活動時間割合の推移（学問分野別）

- 大学等教員の研究時間割合は全体としては減少しているが、学問分野別に見ると保健分野の教員における職務活動時間割合の増減が大きく影響している
- 理学、工学、農学及び人文社会科学分野における研究活動時間割合は、H20以降、大きな変化は見られない

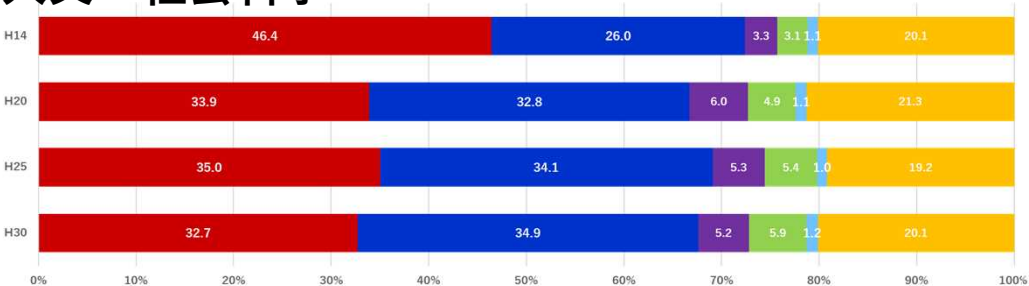
理学



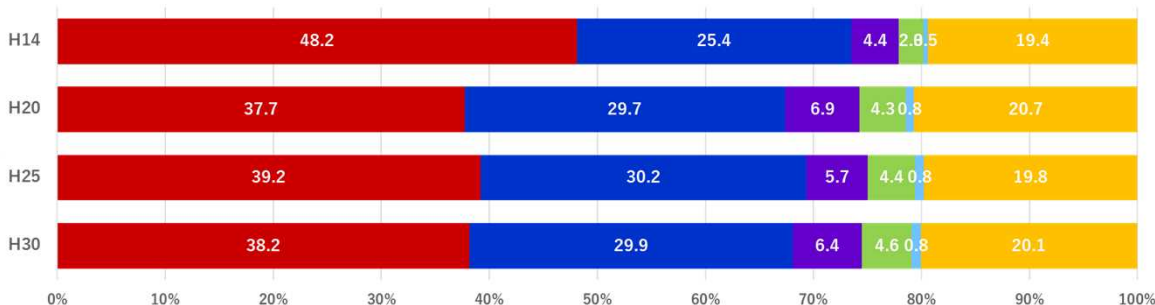
農学



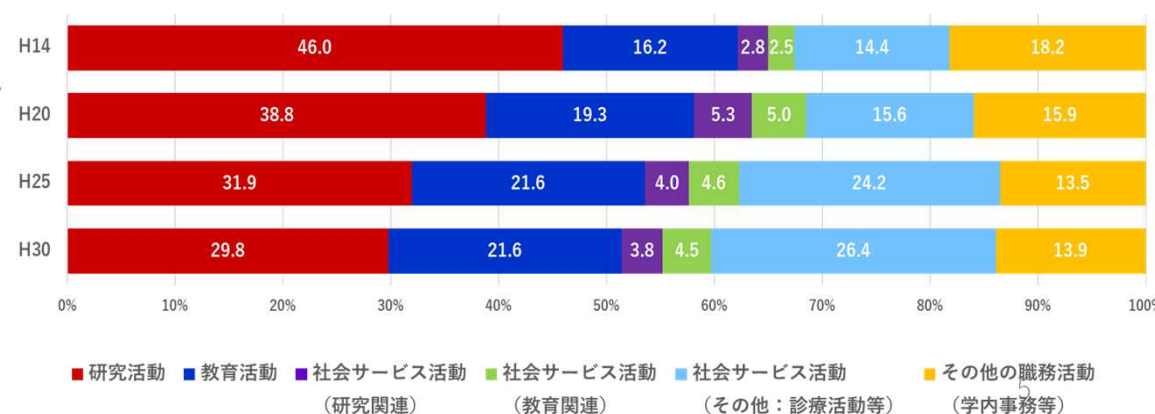
人文・社会科学



工学



保健

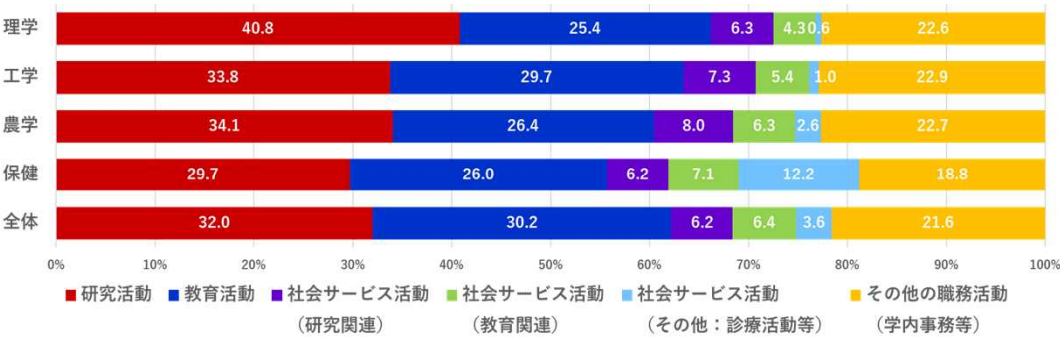


■ 研究活動 ■ 教育活動 ■ 社会サービス活動 ■ 社会サービス活動 ■ 社会サービス活動 ■ その他の職務活動
(研究関連) (教育関連) (その他：診療活動等) (学内事務等)

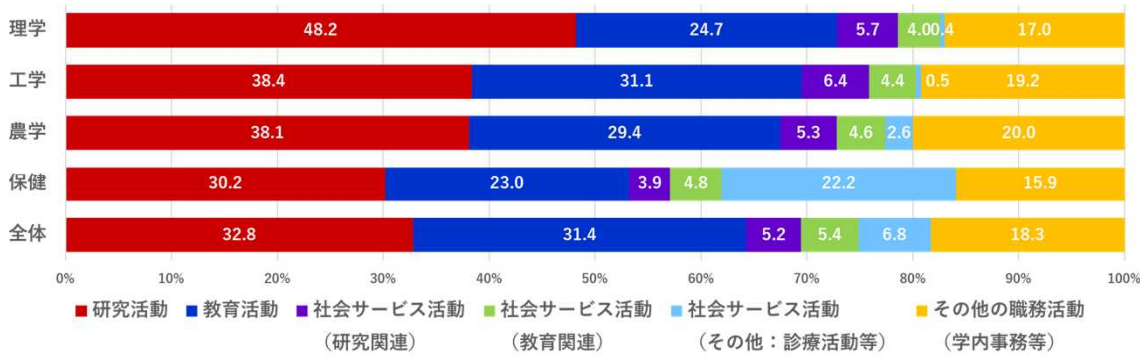
職位と学問分野別のクロス集計（平成30年度）

- 理学ではいずれの職位でも研究時間割合40%以上を維持
- 教育活動時間割合については講師が高い傾向がある
- いずれの学問分野においても、その他の職務活動（学内事務等）割合については教授が最も高い
- 保健分野では下位の職位になるほど、社会サービス活動（その他:診療活動等）割合が高くなる
- 理学・工学・農学分野の助教の研究時間割合は50%以上を維持

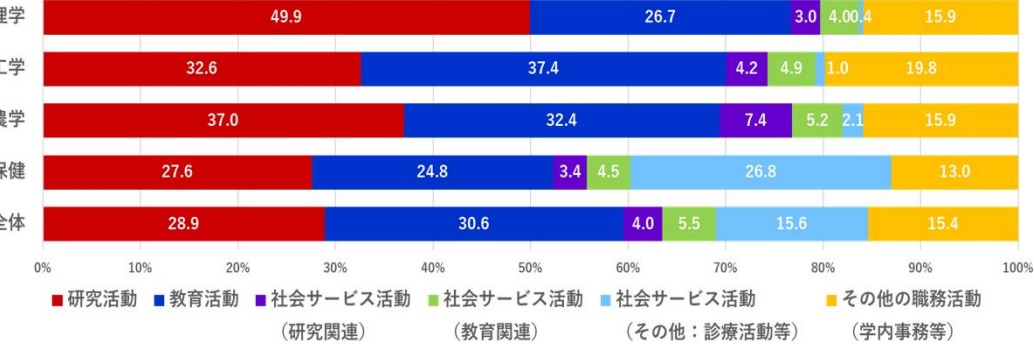
教授



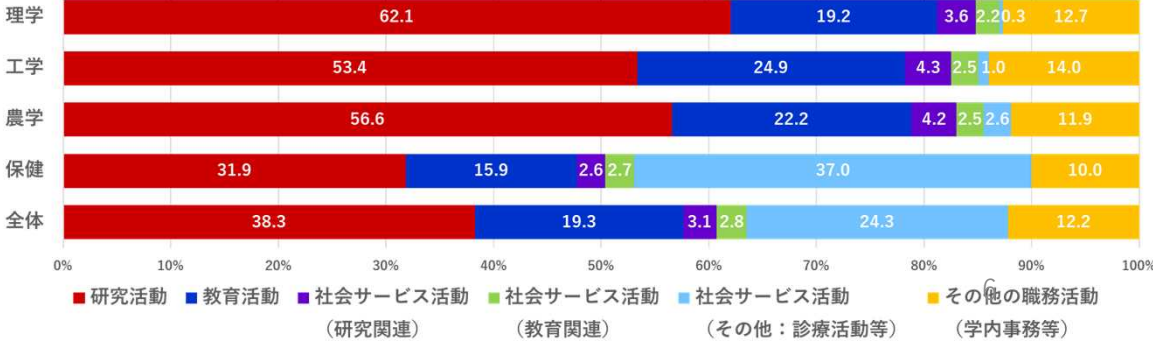
准教授



講師



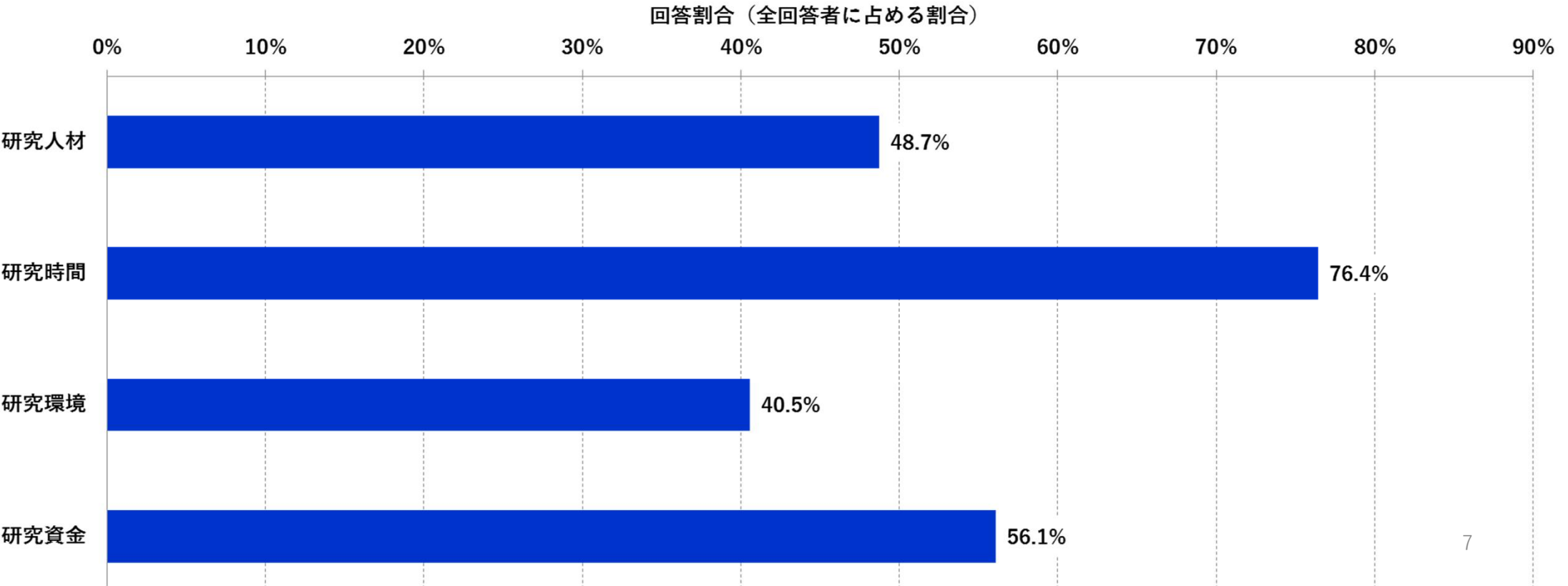
助教



研究パフォーマンスを高める上で最も制約となっていること

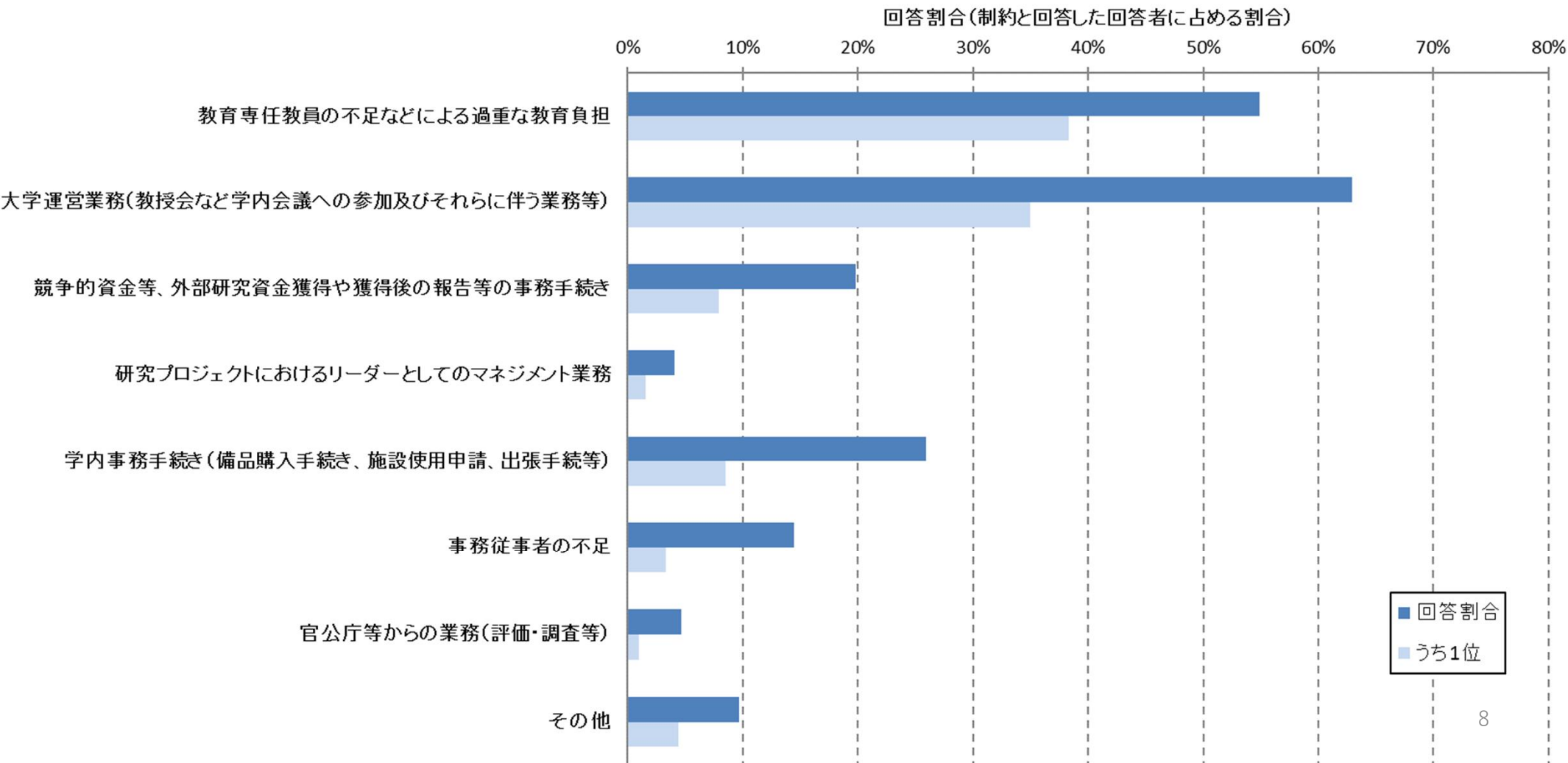
○研究活動時間割合の減少の要因を検討するため、教員が研究パフォーマンスを高める上で制約を感じている要素を（１）研究人材、（２）研究時間、（３）研究環境、（４）研究資金の４つに分類

○それぞれについてどの程度制約を感じているか、「非常に強い制約となっている」「強い制約となっている」「どちらとも言えない」「あまり制約にはなっていない」「全く制約ではない」という５件法で回答を求め、上位２位（「制約となっている」と回答した教員数）を集計



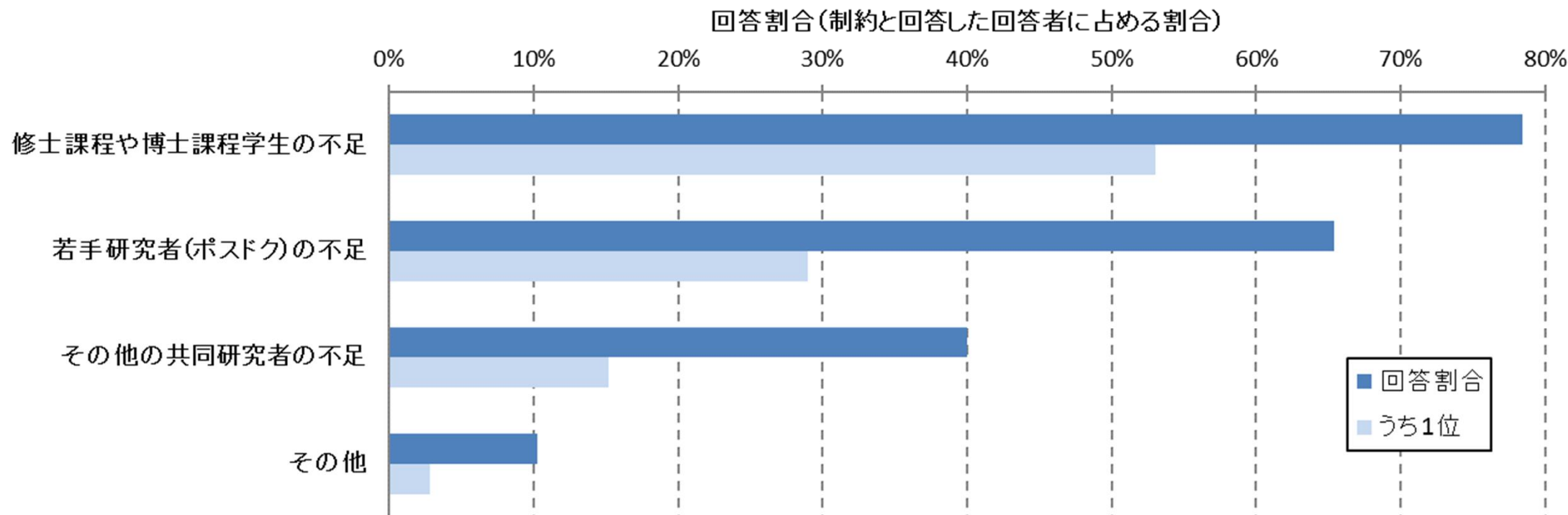
研究パフォーマンスを高める上で最も制約となっていること（研究時間）

研究パフォーマンスを高める上で最も制約となっていること（研究時間）



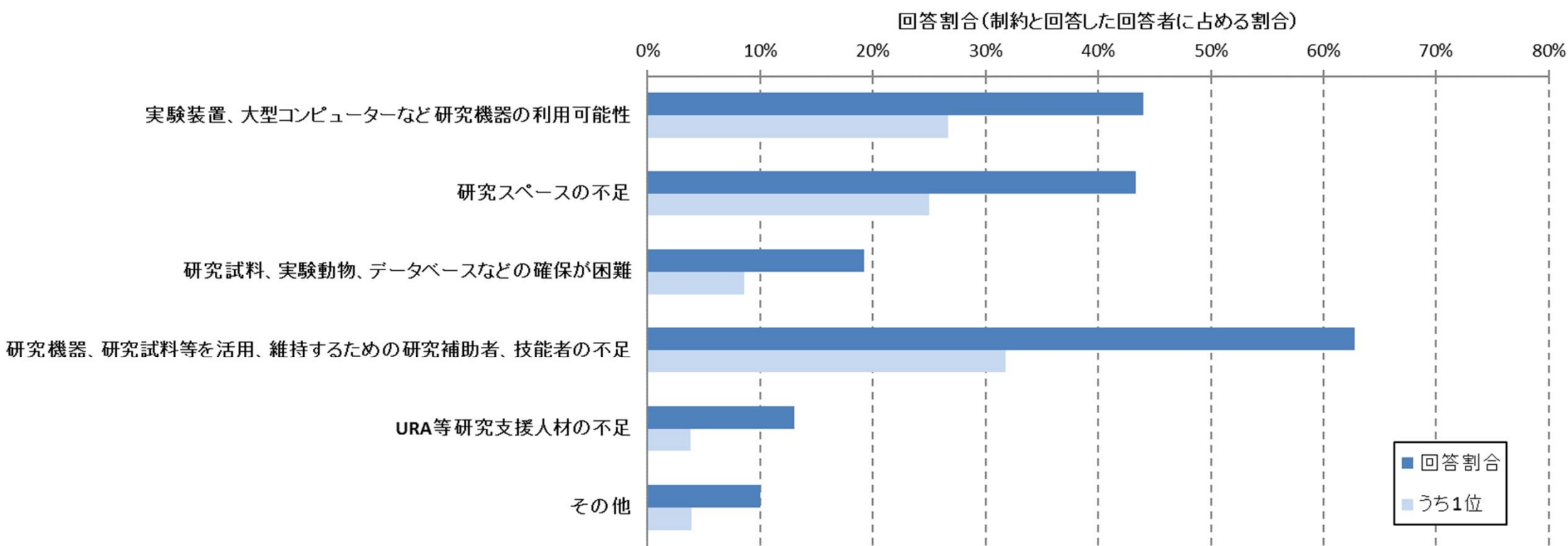
研究パフォーマンスを高める上で最も制約となっていること（研究人材）

研究パフォーマンスを高める上で最も制約となっていること(研究人材)



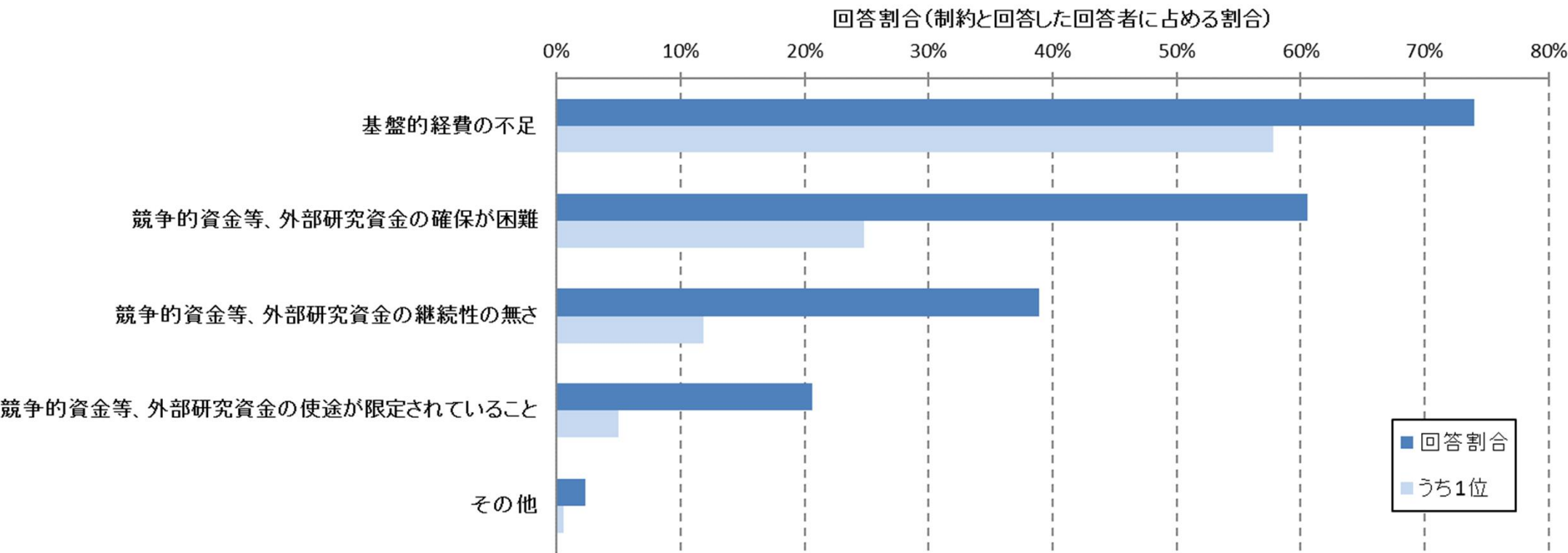
研究パフォーマンスを高める上で最も制約となっていること（研究環境）

研究パフォーマンスを高める上で最も制約となっていること(研究環境)



研究パフォーマンスを高める上で最も制約となっていること（研究資金）

研究パフォーマンスを高める上で最も制約となっていること(研究資金)



今後の検討課題

- 大学グループ別等、更なる深堀分析の実施（科政研とも協力）
- 調査結果の活用と周知（各大学に周知し、問題意識を持ってもらう等）
- 研究者へのデータアクセスを容易にし、様々な観点からの分析を促進